

J Aバンク栃木における地域密着型金融の取組状況（平成 29 年度）

J Aバンク栃木（栃木県下 J Aと農林中央金庫宇都宮支店）では、農業と地域社会に貢献するため、平成 28～30 年度 J Aバンク栃木中期戦略に基づき地域密着型金融の推進に取り組んでおります。

この度、平成 29 年度の地域密着型金融の取組状況について取りまとめましたので、ご報告いたします。

1 農山漁村等地域の活性化のための融資を始めとする支援

（J Aバンク栃木の農業メインバンク機能強化への取組み）

J Aバンク栃木は、地域における農業者との結び付きを強化し、地域を活性化するため、次の取組みを行っています。

（1）農業融資商品の適切な提供・開発

J Aバンク栃木は、各種プロパー農業資金を提供するとともに、農業近代化資金や日本政策金融公庫資金の取扱いを通じて、農業者の農業経営と生活をサポートしています。

平成 30 年 3 月末時点の J Aバンク栃木の農業関係資金残高^{（注1）}は 35,743 百万円（うち農業経営向け貸付金 20,886 百万円）、日本政策金融公庫等の受託貸付金^{（注2）}残高は 5,300 百万円を取り扱っています。

（注1）農業関係の貸出金とは、農業者および農業関連団体等に対する貸出金であり、農業生産・農業経営に必要な資金や、農産物の生産・加工・流通に係る事業に必要な資金等が該当します。

（注2）J Aバンク栃木が農業者の窓口となり、日本政策金融公庫などの貸付金の受託取扱いを行っています。受託貸付金残高には、J A転貸分を含みます。

【営農類型別農業資金残高】（単位：百万円）

| 営農類型 | 30年3月末現在 |
|-------------|----------|
| 農業 | 20,886 |
| 穀作 | 4,907 |
| 野菜・園芸 | 4,791 |
| 果樹・樹園農業 | 1,152 |
| 工芸作物 | 35 |
| 養豚・肉牛・酪農 | 4,805 |
| 養鶏・鶏卵 | 19 |
| 養蚕 | 1 |
| その他農業（注1） | 5,174 |
| 農業関連団体等（注2） | 14,857 |
| 合計 | 35,743 |

（注1）「その他農業」には、複合経営で主たる業種が明確に位置づけられない者、農業サービス業、農業所得が従となる農業者等が含まれています。

（注2）「農業関連団体等」には、J Aや全農（経済連）とその子会社等が含まれています。

（注3）少数点以下を四捨五入しております。

【資金種別別農業資金残高】 (単位：百万円)

| 種 類 | 30年3月末現在 |
|--------------|----------|
| プロパー資金 (注1) | 31,012 |
| 農業制度資金 (注2) | 4,731 |
| 農業近代化資金 | 3,283 |
| その他制度資金 (注3) | 1,447 |
| 合 計 | 35,743 |

(注1) プロパー資金とは、JAバンク原資の資金を融資しているもののうち、制度資金以外のものをいいます。

(注2) 農業制度資金には、①地方公共団体が直接的または間接的に融資するもの、②地方公共団体等が利子補給等を行うことでJAバンク栃木が低利で融資するもの、③日本政策金融公庫等が融資するものがあり、ここでは①③の転貸資金と②を対象としています。

(注3) その他制度資金には、農業経営改善促進資金(スーパーS資金)や農業経営負担軽減支援資金などが該当します。

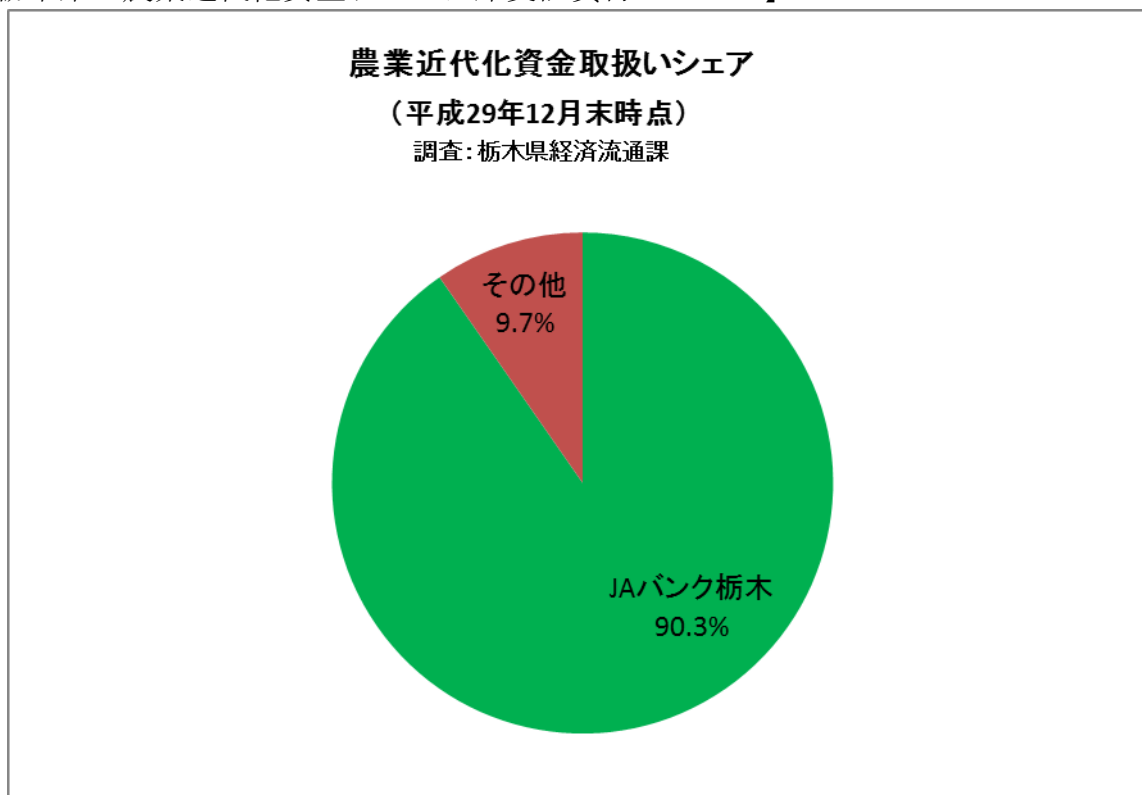
(注4) 小数点以下を四捨五入しております。

【農業資金の受託貸付金残高】 (単位：百万円)

| 種 類 | 30年3月末現在 |
|------------|----------|
| 日本政策金融公庫資金 | 5,300 |

(注) JAバンク栃木では、主にJAを窓口として、日本政策金融公庫資金の受託貸付金を取り扱っています。

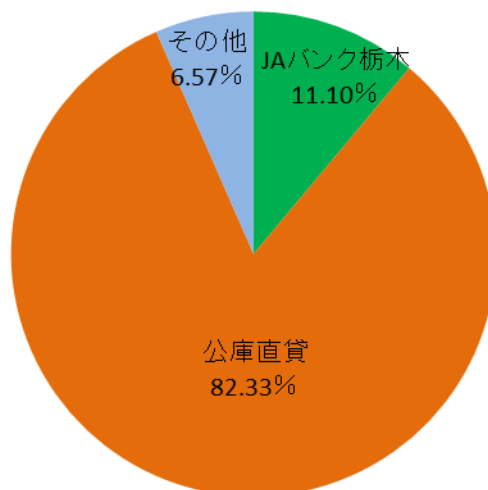
JAバンク栃木は主要な農業関係の制度資金である、農業近代化資金や日本政策金融公庫資金の取扱いにおいてトップシェアとなっています。

【栃木県の農業近代化資金および公庫受託貸付のシェア】


公庫農業資金取扱いシェア

(平成30年3月末時点)

出所: 日本政策公庫「業務統計年報」
農林中央金庫「農業融資残高一覧表」



(2) 担い手のニーズに応えるための体制整備

JAバンク栃木では、地域の農業者との関係を強化・振興するための体制整備に取り組んでいます。

JAでは、本・支店（本・支所）の農業融資担当者が、営農・経済担当者が農業者からお聞きした情報も含めて把握して、農業融資に関する訪問・資金提案活動を実施しています。また、県内10JAの本・支店（本・支所）には64人の「担い手金融リーダー」が設置され、支店の活動をサポートしています。

農林中央金庫宇都宮支店では、JAの活動サポート・指導機能、農業法人等への融資相談機能を担う「県域農業金融センター」を立ち上げ、これらの機能の拡充、強化に向けて取り組んでおります。

(3) JA内事業間連携の強化

JAバンク栃木では、農業者の多様なニーズにJAをあげて応えていくため、営農・経済事業等との合同会議・研修会の開催や農業者への同行訪問等により、これまで以上に、JA内事業間連携を強化しています。

【具体的取組事例】
a 第13回JAバンク栃木担い手金融リーダー会議

| | |
|-------|---|
| 開催日 | 平成30年3月8日 |
| 主催者 | 農林中央金庫宇都宮支店 |
| 参加対象者 | 農協役職員 |
| 参加人数 | 68名 |
| 内容 | <p>農家支援の取組強化を図ることを目的に、農業融資担当者および営農・経済渉外担当者を参集し、開催しました。会議では、栃木県より「農業制度資金融資状況等の情勢」、JA栃木中央会より「米政策見直し」についてご説明をいただきました。また、先だって開催された「第13回JAバンク担い手金融リーダー全国大会」に参加したJAはが野・JAなす南の担当者より、同大会のフィードバックと自らのJAにおける事業間連携の強化策等について報告をいただきました。</p> <p>講演では佐野市の株式会社わくわくお米本舗、取締役副社長の亀田泰志氏より「担い手対応力強化に向けた農業経営改善の着眼点について」と題しご講演いただきました。亀田氏は中小企業診断士としてもご活躍されており、双方の視点からJA担当者が持つべき「経営改善の着眼点」をご教示いただきました。</p> |



b 第17回パワフルアグリフェア

| | |
|-------|---|
| 開催日 | 平成29年7月22、23日 |
| 主催者 | JAグループ栃木 |
| 総来場者数 | 県内外より6,980名 |
| 内容 | パワフルアグリフェア（JAグループ栃木農業機械等統一展示会）に参画し会場内に設置した特設コーナーにおいて、農業資金等のPRおよび借入相談対応等を実施しました。 |



2 担い手の経営のライフサイクルに応じた支援

JAバンク栃木は、担い手をサポートするため、ライフサイクルに応じて、次の取組みを行っています。

(1) 新規就農者の支援

JAバンク栃木では、新規就農者の経営と生活をサポートするため、以前より就農支援資金（現：公庫資金「青年等就農資金」）を取り扱っています。また、平成28年7月よりJAバンク栃木としても新規就農者の様々な資金ニーズに対応すべく「JA新規就農応援資金」を創設いたしました。

加えて、平成28年4月より設立された「JA栃木中央会JAグループ栃木担い手サポートセンター」や、日本政策金融公庫宇都宮支店、栃木県と連携し新規就農者向けセミナーを開催し、各種情報提供に加え、新規就農者同士・関係機関とのネットワークづくりを行っています。

【新規就農者をサポートする資金の残高実績】

(単位：百万円)

| | 平成30年3月末 残高 |
|------------|----------------|
| 青年等就農資金 | 253 |
| 就農支援資金 | 462 |
| JA新規就農応援資金 | 37 |
| 合計 | 752 |

【平成29年度新規就農者応援セミナーの開催】

| | |
|---------|--|
| 開 催 日 | 平成29年7月24日 |
| 主 催 者 | JAバンク栃木、JAグループ栃木担い手サポートセンター、株式会社日本政策金融公庫宇都宮支店 |
| 参 加 人 数 | 115名 |
| 内 容 | <p>栃木県（各農業振興事務所）も協力のもと、県内で新規就農を資金面・制度面で支える機関・団体が集結し、県内各地から新規就農者ならびに県農大生を含む新規就農者を志す研修生ら計120人程度が参加しセミナーを開催いたしました。</p> <p>セミナーでは各関係機関より融資商品や補助事業等の情報提供を行った後、JA栃木青年部連盟顧問の富貴澤孝澄氏より「農業で生きていくということ～仲間と支え合う大切さについて～」と題しご講演をいただきました。ご自身の体験談や青年部連盟での活動を通じて体感した「人とのつながり」の重要性を教えてくださいました。</p> <p>セミナー終了後は意見交換会も開催し、参加者同士での情報交換をはじめ、LINEの友達登録やお互いの圃場見学の約束など、積極的に「つながり」を広げていました。</p> |

(2) 経営不振農家の経営改善支援

JAバンク栃木では、負債整理資金の対応にあたり、関係機関と協議するなど、農業者の経営再建に向けて取り組んでいます。

(単位：先数)

| | | 期初経営改善 支援取組先 A | Aのうち再生 計画を策定し た先数 a | Aのうち期末 に債務者区分 がランクアッ プした先数 b | Aのうち期末 に債務者区分 が変化しな かった先数 c | 再生計画策定 率 = a / A | ランクアップ 率 = b / A |
|------------------|------------|----------------------|---------------------------|--|---|------------------------|------------------------|
| | | | 正常先① | | 60 | 5 | 51 |
| 要 注 意 先 | うちその他要注意先② | 51 | 5 | 4 | 44 | 9.8% | 7.8% |
| | うち要管理先③ | 1 | 0 | 1 | 0 | 0.0% | 100.0% |
| 破綻懸念先④ | | 29 | 12 | 8 | 24 | 41.4% | 27.6% |
| 実質破綻先⑤ | | 11 | 1 | 1 | 11 | 9.1% | 9.1% |
| 破綻先⑥ | | 0 | 0 | 0 | 0 | - | - |
| 小計(②～⑥の計) | | 92 | 18 | 14 | 79 | 19.6% | 15.2% |
| 合計 | | 152 | 23 | 14 | 130 | 15.1% | 9.2% |

(注) 期初経営改善支援取組先および債務者区分は平成29年2月末時点でのものです。

(3) 災害被災者への支援

JAバンク栃木では、自然災害の被災者を支援するため、災害対策窓口を設置したほか、災害対策資金の創設や個別融資先の経営状況に応じて償還条件の緩和等に対応しました。

(単位：件、百万円)

| 取組事例 | JA名 | 内容 | 件数 | 貸付実行金額 |
|---------------|--------|--|----|--------|
| 平成27年9月大雨災害資金 | JAかみつが | 豪雨により被害を受けた管内農業者に対して、農業経営に必要な資金、生活維持に必要な資金を対応中です。 (連合会・JAで利子補給を行い、無利子、さらに保証料をJAで負担) | 1 | 39 |

(4) JAバンク栃木講演会・セミナー等の開催

JAバンク栃木および栃木県農業法人協会主催により、農業法人経営者や系統団体等を招いたセミナーを開催し、異業種間の情報交流を促進しています。

【具体的取組事例】

| | |
|-----------|--|
| セ ミ ナ ー 名 | 平成 29 年度 栃木県農業経営セミナー |
| 開 催 日 | 平成 30 年 2 月 23 日 |
| 主 催 者 | JAバンク栃木、栃木県農業法人協会 |
| 参 加 対 象 者 | 農業法人経営者、農協役職員、行政、関係団体 等 |
| 参 加 人 数 | 74 名 |
| 内 容 | <p>◆第一部</p> <p>①「データからわかる販売戦略 変化をチャンスと捉える」 講師 オイシックスドット大地株式会社 戦略調達セクションリーダー 阪下利久氏</p> <p>◆第二部</p> <p>②「食・農・観光が創る地元の元気」 講師 オトワレストラン オーナーシェフ 音羽和紀氏</p> <p>◆第三・四部</p> <p>③情報提供 ④交流会</p> |



3 経営の将来性を見極める融資手法を始め、担い手に適した資金供給手法の提供

JAバンク栃木では、担い手の経営実態やニーズに適した資金の提供に努めています。

(1) 負債整理資金による経営支援

JAバンク栃木では、農業者の債務償還負担を軽減し、経営再建を支援するため、負債整理資金を取り扱っています。

【平成29年度 負債整理資金の貸出実績】

(単位:件,百万円)

| 資金名 | 平成29年度 実行件数 | 平成29年度 実行金額 | 平成30年3月末 残高 |
|----------------|----------------|----------------|----------------|
| 農業負担軽減支援資金(注1) | 0 | 0 | 0 |
| 畜産特別資金(注2) | 0 | 0 | 120 |
| その他(注3) | 8 | 11 | 1,584 |
| 合計 | 8 | 11 | 1,704 |

(注1) 農業経営負担軽減支援資金は、営農に必要な資金を借り受けたために生じた負債の借換えのための制度資金であり、JAなどの融資機関において取り扱っています。

(注2) 畜産特別資金は、過去の負債の償還が困難な畜産経営者に対する長期・低利の借換資金であり、JAなどの融資機関において取り扱っています。

(注3) その他資金は、営農に必要な資金を借り受けたために生じた負債の借換のためのJAプロパー資金の総計です。

(2) ABL対応型資金の創設

JAバンク栃木では、栃木県で盛んな酪農業・畜産業を営む農業者に必要な運転資金に対応するため、「ABL対応型資金」を創設いたしました。

ABLとは「動産譲渡担保」を活用した不動産担保や個人保証に依存しない融資手法であり、「ABL対応型資金」は酪農業・畜産業における商品在庫(牛や豚)を担保とする融資商品です。

4 農山漁村等地域の情報集積を活用した持続可能な農山漁村等地域育成への貢献

JAバンク栃木は、地域の子どもたちに農業への理解を促進するため、JAバンク食農教育応援事業を展開し、農業に関する教材「農業とわたしたちの暮らし」の配布や農業体験の受入れ等に取り組んでいます。

教材「農業とわたしたちの暮らし」は、JAバンクを通じて、県下の小学校 364 校へ 20,360 冊配布され、授業等において活用されています。

また、県下 JA では、下表のような食農教育などの実践活動に取り組んでいます。

【JAバンク食農教育応援事業による活動内容】

| JA名 | 活動名 | 活動内容 |
|----------|------------------------|--|
| JA うつのみや | 農業体験教室 (アグリスクール) | 小学生を対象に、野菜の収穫体験や稲刈りの農業体験を通じ、農業の理解・関心を深める取組みを行いました。 |
| JA かみつが | 農業体験学習 | 小学生を対象に、学校農園で農作物づくりの農業体験や稲刈りを通じ、農業の理解・関心を深める取組みを行いました。 |
| JA はが野 | 農業体験教室 (未来ちゃんクラブ) | 小学生を対象に、JA管内（真岡・二宮・益子・茂木・市貝・芳賀）ごとに、それぞれの地域の特色を持った農業体験を行いました。 |
| JA しもつけ | 農業体験学習 | 小学生を対象に田植え・稲刈りの農業体験や、さつまいもや梨の収穫体験を通じ、農業の理解・関心を深める取組みを行いました。 |
| JA おやま | 農業体験学習 | 小学生を対象に管内産の食材を使った親子クッキングを実施し、農業や食料への関心を深める取組みを行いました。 |
| JA 佐野 | 農業体験教室 (あぐりスクール「夢」) | 小学生を対象に田植え、野菜の定植・収穫体験や地元の野菜を使った料理教室を通じて、農業への関心を高める取組みを行いました。 |
| JA 足利 | 農業体験教室 (あぐりキッズクラブ) | 小・中学生を対象に、味噌作りや収穫した米や野菜を使用した調理体験を通じて食農教育活動を行いました。 |
| JA しおのや | 農業体験学習 | 園児・小学生を対象にサツマイモの定植・収穫やバケツの稲づくりの農業体験を通じ、農業の理解・関心を深める取組みを行いました。 |
| JA なすの | 農業体験教室 (なっちゃんクラブ) | 小学生を対象に、農作物（大根、そば等）の種まきから収穫、調理して食べるまでの農業体験や調理実習を行いました。 |
| JA なす南 | 児童作品展覧会 | 園児・小中学生を対象に、食育に関する学習・体験を実施しました。また、地産地消の取組みとして「とちぎ和牛」の学校給食への提供を行いました。 |

以上